



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

一橋大学国内交流セミナー

第23回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ
2013年11月15日(金)16:30~18:30

講師: 柘植 あづみ さん
(明治学院大学社会学部教授)

生殖技術と社会

—不妊治療と再生医療がもたらしたもの—



不妊治療と治療が難しい病気を治すための再生医療、一見、あまり関係ないように思われます。でも、再生医療のES細胞を作るには、体外受精で凍結保存した受精卵を資源にします。クローンES細胞は、女性から卵子を提供してもらう必要があります。現在、iPS細胞から人の卵巣・卵子、精巣・精子をつくる研究が進められています。それらは、再生医療だけではなく不妊治療に使うことも想定されています。人生から切り離された卵子・精子を生み出し、流通させる社会の課題を考えます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

◆講師紹介◆

お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位取得退学、学術博士。出生前診断、不妊治療に関するインタビューから、技術と社会・ジェンダーの関係を検討している。著書『生殖技術—不妊治療と再生医療は社会に何をもたらすか』(みすず書房)など。

- 司会:宮地尚子さん(本学社会学研究科教授)
- 場所:一橋大学東キャンパス
マーキュリータワー 5階3508
- 連絡先:ジェンダー社会科学研究センター
cgrass@soc.hit-u.ac.jp